

1. 令和6年産販売状況（6月末速報値）（図表1）

令和6年産主食うるち米の販売数量は、1月までは前年を上回る進捗でしたが、2月以降は前年を下回り、6月末現在で109万ト（前年比85%）となっています。

備蓄米の放出により通常の販売分の進捗が低下したことが影響しています。なお、備蓄米を加えた販売進捗は概ね前年並みとなっています。

2. 価格の動向（図表2・3）

- （1）農林水産省が公表した6年産相対販売価格（令和7年5月時点、税別・包装抜換算）は、25,411円/60kgと、前年同月と比べて+11,159円となっています。
- （2）主要銘柄の市中価格は、6年産米出回り後から急激に上昇し、7年1月から5月にかけて40,000円～50,000円/60kgで高止まりしていましたが、6月以降は大幅に下落しています。
- なお、市中価格は民間業者間のスポット的取引価格であり、流通量は限定的です。

3. 今後の需給見通し（図表4）

3月の食糧部会では、令和7年6月末民間在庫は158万ト（前回（10月指針）と比べ▲4万ト、前年（6年6月）と比べ+5万ト）と示されました。これに、第3回入札までに落札された政府備蓄米31万トを加味すると、7年6月末民間在庫は189万トと試算されます。

また、随意契約による政府備蓄米放出によりさらに流通量が増加すること、7年産主食用米の作付け意向が増産傾向であることを勘案すると、令和8年6月末民間在庫は178万トよりも大きくなる可能性があり、今後の動向に注視が必要です。

【図表1】令和6年産主食うるち米の販売実績（7年6月末速報値）

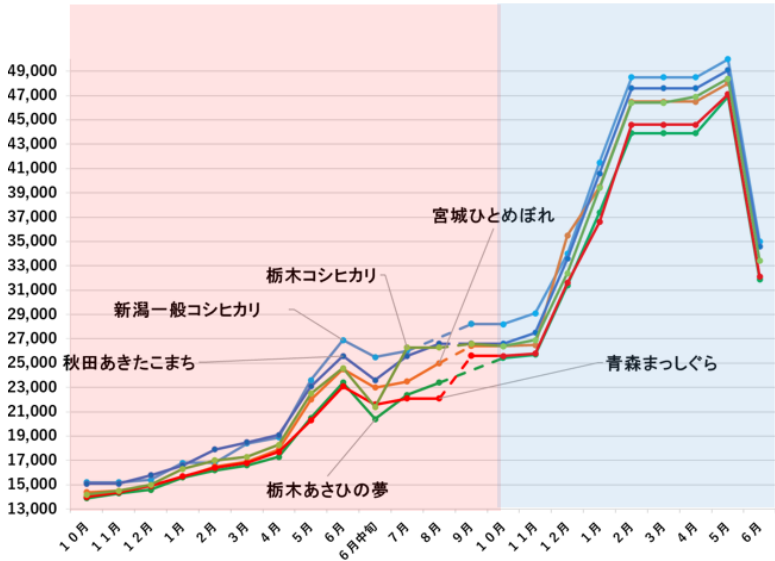
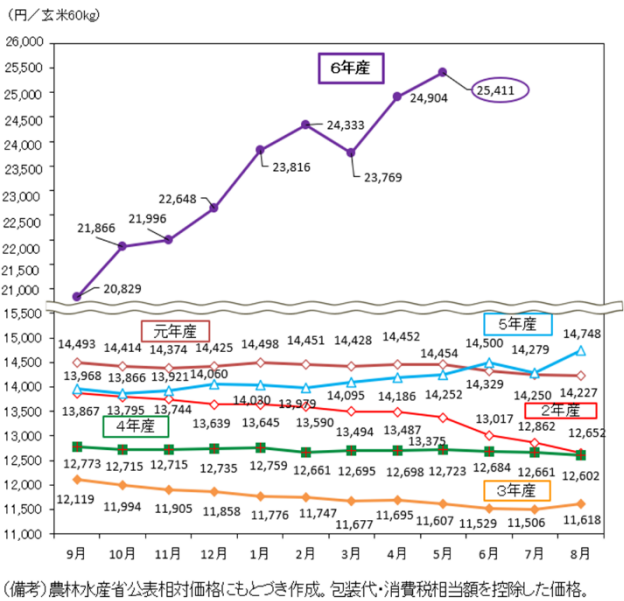
単位：千トン

年産	販売実績					7年7月以降 要販売数量
	出回り～3月	4月	5月	6月	合計	
6年	749	139	106	98	1,091	506
5年	758	182	173	177	1,291	568
4年	689	146	141	164	976	940
6/5	99%	76%	61%	55%	85%	89%
6-5	▲10	▲43	▲67	▲80	▲200	▲61
6/4	109%	95%	75%	60%	112%	54%
6-4	60	▲7	▲35	▲66	115	▲434

注1) ラウンドの関係で合計が合わない場合がある。
注2) 販売数量は、実出荷ベース。

【図表2】相対取引価格の推移（7年5月末）

【図表3】5年産・6年産市中価格（6月）



【図表4】今後の需給見通し（3月26日食糧部会より）

				(単位：万ト)	
項目		算式	3月食糧部会	備蓄米放出 31万ト加味	
R6/7年	6年6月末民間在庫量	A	153	153	
	6年産主食用米等生産量	B	679	679	
	供給量計	C=A+B	832	863	
	需要量	D	674	674	
	7年6月末民間在庫量	E=C-D	158	189	
R7/8年	7年6月末民間在庫量	E	158		
	7年産主食用米等生産量	F	683		
	供給量計	G=E+F	841		
	需要量	H	663		
	8年6月末民間在庫量	I=G-H	178		

注) ラウンドの関係で加減が一致しない箇所がある。

4. 政府備蓄米の買戻し条件付き売渡しについて（図表5・6・7）

（1）現時点で第3回まで入札が実施されており、合計31.2万ト^ンが落札されました。平均落札価格は21,217円（第1回）、20,722円（第2回）、20,302円（第3回）（いずれも税別）と公表されています。

（2）本会の7月3日現在の販売状況は、第1 - 3回入札の落札数量296,195トンに対し、出荷済み数量は223,603ト^ン（進捗率75%）となっています。落札数量については全て契約を完了し、販売先からの依頼に応じ、受渡しを進めています。

（3）随意契約による備蓄米の売渡しが公表され、8月末までに4年産と3年産米（約30万トン）が国から小売業者や米穀小売店等へ売渡される予定です。

5. 令和7年産米の作付意向（図表8）

（1）農水省が公表した7年4月末時点の作付意向によると、全国の主食用米の作付面積は、都道府県ごとの増減はあるものの、131.7万ha（前年と比べ+5.8万ha）となりました。

また、政府は7年産備蓄米の買入を当面中止する方針を示していることから、備蓄米の作付意向1.7万haを加味した面積は133.4万haとなり、数量換算では生産量719万トンと見込まれます。

（2）戦略作物等の作付面積は、加工用米、米粉用米、飼料用米、WCSおよび麦大豆が減少し、新市場開拓用米は昨年同等となっています。

6. 米流通および生産への理解醸成・米消費拡大の取組み（図表9）

（1）米流通・生産への理解醸成の取り組みとして、直近では6月24・25日各メディアに対し米の生産・流通に関する説明会を実施し、JAグループとしての取り組みを紹介しました。

（2）米の消費拡大に向けて、お米をより美味しく、楽しく食べるために、レシピ紹介等を通じた消費機会の提案などの情報発信に取り組んでいます。

（3）全国各地のお米と47都道府県の食材を使ったおかずレシピをYoutubeで公開しているほか、食や農の重要性を消費者に理解してもらうことを目的に「note」でコメに関する記事を発信しています。

【図表5】入札備蓄米の概要

入札回	1回目	2回目	3回目
参加者	7社	4社	6社
落札数量（ト ^ン ）	141,796	70,336	100,164
落札価格（円/60kg）	21,217	20,722	20,302

【図表7】随意契約備蓄米の概要

公表日	5月26日	5月30日	6月11日
対象者	大手小売 ^リ	・米穀店 ・中小小売 ^リ	・大手小売 ^リ ・中小小売 ^リ ・米穀店
対象数量	30万ト ^ン 4年産20万ト ^ン 3年産10万ト ^ン	8万ト ^ン 全量3年産	20万ト ^ン 3年産10万ト ^ン 2年産10万ト ^ン
売渡価格	10,700円 4年産11,010円 3年産10,080円	10,080円	3年産10,080円 2年産9,140円

【図表6】本会の出荷状況プレスリリース

政府備蓄米の販売状況について（7月3日現在）

全国農業協同組合連合会（JA全農）

JA全農の政府備蓄米の販売状況について、以下のとおりお知らせします（7月3日現在）。

出荷済み数量は、第1回から第3回の合計で75.5%となります。なお、販売先からの出荷要請にはすべてお応えしております。

1. 政府備蓄米第1回～3回入札落札分の販売状況

1. 落札数量 296,195ト^ン

2. 販売先との契約数量 296,195ト^ン

3. 販売先からの出荷依頼数量（※1）

4月出荷分まで 55,112ト^ン

5月出荷分 74,469ト^ン

6月出荷分 86,727ト^ン

7月出荷分 44,908ト^ン

8月出荷分 2,766ト^ン

合計 263,982ト^ン（進捗率89%）

4. 出荷依頼待ち数量 32,213ト^ン

5. 出荷済み数量 223,603ト^ン（進捗率75%、前週の70%に対し+5%、出荷依頼に対し100%出荷）

【図表8】7年産の水田における作付け意向（7年4月末時点）

単位：万ha

	主食用米	備蓄米	戦略作物						
			加工用米	新規需要米				麦	大豆
				新市場 開拓用米 （輸出用米等）	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 （稲発酵 粗飼料用稲）		
R3年産	130.3	3.6	4.8	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5
R4年産	125.1	3.6	5.0	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9
R5年産	124.2	3.5	4.9	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8
R6年産	125.9	3.0	5.0	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4
R7年産 （4月末時点）	131.7	1.7	4.4	1.1	0.5	6.7	5.3	9.7	7.8
対前年差	5.8	▲1.3	▲0.6	0.0	▲0.1	▲3.2	▲0.3	▲0.6	▲0.6

注1：主食用米、戦略作物及び備蓄米の7年産意向は、地方農政局等が4月末時点で都道府県農業再生協議会等に関与した面積（麦・大豆は基幹作の面積）。

注2：主食用米の6年度以前の実績は、統計部公表の主食用作付面積。

注3：加工用米及び新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稲）の6年度以前の実績は、取組計画認定面積。

注4：麦・大豆の6年度以前の実績は、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に関与した面積（基幹作）。

注5：備蓄米の6年度以前の実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

【図表9】消費拡大の取組み

お米伝道師の神レシピ47をYouTubeで公開中

noteで米に関する記事を公開中



それぞれこちらからご視聴いただけます

以上